長野の林業

平成27年9月10日発行
長野の林業編集委員会

No.308

もくじ

トピックス……平成28年6月5日に第67回全国植樹祭を開催 ……2
第45回全国林業後継者大会を飯山市で開催
特集 防災の夏・減災の夏……4
トピックス……飯伊森林組合のプレカット加工施設が完成 ……6
森林環境教育活動について…木曽森林ふれあい推進センター ……7
林業大学校オープンキャンパス ……8
お知らせ……林業大学校入学生の募集／長野県きのこ祭り・きのこ料理コンクール…9
県森連だより…… 10
長野県の木材市況…… 12

第67回全国植樹祭の開催日が平成28年6月5日(日)に決定しました！

第67回 全国植樹祭 ながの2016

平成二十八年六月五日(日)に 第六十七回全国植樹祭を開催！

平成二十七年八月六日に開催された公益社団法人国土緑化推進機構の理事会において、第六十七回全国植樹祭の開催日が平成二十八年六月五日(日)に決定されました。

五十二年ぶりとなる全国植樹祭の開催までは、わずか九ヶ月です。十月一日からは式典参加(観覧)者の募集が始まります。募集の詳細は次号でお知らせしますので、ご期待ください。

第六十七回全国植樹祭の開催概要

開催日　平成二十八年六月五日(日)

内　容

◎式典行事

・プロローグ

『ようこそ信州へ！』

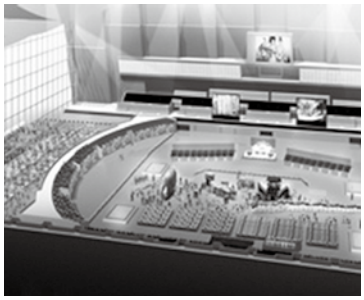
招待者を歓迎するとともに、記念式典へのプロローグとなります。

・記念式典

両陛下によるお手植え、お手播きのほか、大会テーマを表現します。

・エピローグ

開催理念の継承と森林が未来につながるメッセージを、全国に向け発信します。



式典行事のイメージ図

長野市オリンピック記念アリーナ　エムウェーブ
(写真:株式会社エムウェーブHPより)

式典会場となるエムウェーブは、長野オリンピックのスピードスケートの会場で、県産のカラマツ集成材による、世界最大級の木製つり屋根構造を持つ独創的な構造物です。

◎植樹行事

県内の4つの会場※1において、会場の特性を考慮し、将来目指すべき森林の姿をイメージしながら植樹します。

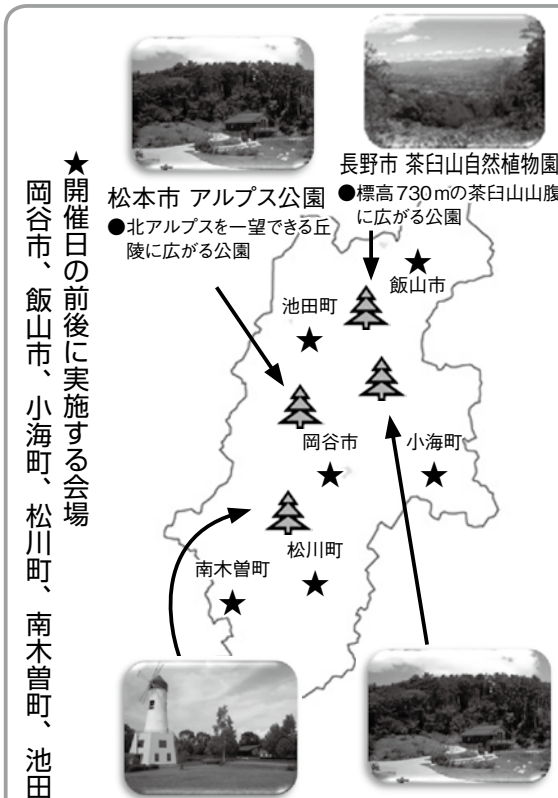
植樹する苗木の一部は、苗木のホームステイ・スクールステイにより、県内の企業・団体の皆様やご家庭、または小中学生の手で大切に育てられたものです。

すくすく育っています。
都筑製作所(坂城町)の皆様

立派な苗木になりますように。
源池小学校(松本市)のみなさん

大きくなーれ。
上田女子短期大学付属幼稚園
(上田市)

※1 開催日に実施する会場



★開催日の前後に実施する会場

岡谷市、飯山市、小海町、松川町、南木曽町、池田町

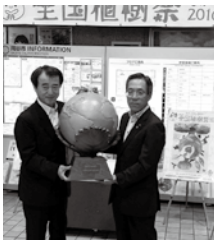
会場と実施日は後日お知らせします。

主催　公益社団法人国土緑化推進機構、長野県

全国植樹祭シンボル「木製地球儀」のリレー

平成二十七年五月十七日、石川県小松市で開催された第六十六回全国植樹祭において、「木製地球儀」が谷本石川県知事より次期開催県の阿部知事へ手渡されました。受け取った「木製地球儀」は全国植樹祭を全県で盛り上げるために、県内の各地でリレー展示をしています。

5月17日、第66回全国植樹祭（石川県小松市開催）にて、谷本石川県知事より阿部知事へ


7月6日、今井岡谷市長（左）へ

5月30日、ふるさとの森づくり県民の集いにて、牛越大町市長（左）へ

8月3日、母袋上田市長（左）へ（写真:信州民報より）

6月15日、勝山池田町長（左）へ

8月31日、新井小海町長（右）へ

全国植樹祭シンボル「木製地球儀」とは

「木製地球儀」は、二十一世紀最初の全国植樹祭（第五十二回山梨県大会）の際に、新たな歴史を築いていく象徴として作成されました。

二十一世紀は環境の時代であり、森林・林業が担う重要な役割を「木製の地球」で表現し、それを国民・企業・行政の三者で支えていく姿勢を三枚の葉で表現しています。

【全国植樹祭推進室】

【リレー展示のスケジュール】

展示期間	会場
9/14～10/2	佐久地方事務所
10/3、4	県立歴史館（千曲市）
10/5～10/16	飯山市
10/19～10/30	北信地方事務所
11/2～11/13	松本地方事務所
11/16～11/27	松本市
11/30～12/11	南木曽町
12/14～12/25	木曽地方事務所
1/4～1/15	長野地方事務所
1/18～1/29	長野市
2/1～2/12	上伊那地方事務所
2/15～2/26	伊那市
2/29～3/11	下伊那地方事務所
3/14～3/25	松川町

※スケジュールは変更する場合があります。

第四十五回全国林業後継者大会を飯山市で開催します。

第六十七回全国植樹祭の関連行事である「第四十五回全国林業後継者大会」の開催日が六月四日（土）に決定しました。

本大会は全国の林業後継者が一堂に会し、森林を育む担い手として果たす役割について意見を交わし、健全な森林と豊かな社会を築くことを、全国へ発信するために開催します。多くの林業関係者のご参加をお願いします。

第四十五回全国林業後継者大会の概要

開催テーマ「人・技・気持ち　つなげよう　未来へ」

大会の基本理念

理念1　林業後継者が活き活きと活動できる林業を目指そう

理念2　全国の林業後継者が活発に交流できる場としよう

理念3　豊な森林づくりと地域の活性化をすすめよう

※大会内容については現在調整中です。

開催場所　飯山市文化交流館なちゅら（飯山駅斑尾口から徒歩三分）

主　催　全国林業研究グループ連絡協議会、長野県林業研究グループ連絡協議会、長野県、飯山市

大会規模　概ね四〇〇人

大会運営　第四十五回全国林業後継者大会長野県実行委員会

なちゅら外観イメージ（平成28年1月25日オープン）

第44回全国林業後継者大会（石川県）の様子

開会・式典会場

会場外の展示、出展

防災の夏・減災の夏

～この夏に行われた山地防災等に関する取組～

協働編

平成四年と七年に、集中豪雨による地すべり性の崩壊が発生した長野市田中地区の里山。県の治山事業により、杭打ちや、集水井等の水抜き工事などが行われ復旧しましたが、その後、治山施設周辺が草木に覆われるなど、治山施設の継続的な維持管理の実施が困難になっていました。

そのような中、国際ボランティア学生協会（ＩＶＵＳＡ）から、長野県内で、森林整備や防災に関する活動をしたいという話をいただき、信濃町の県有林整備とあわせて、治山施設周辺の里山の整備をすることになりました。

８・７ 地域住民と国際ボランティア学生協会による治山施設周辺の里山整備

草木やつるで覆われた集水井工・・・

これで日々の点検やメンテナンスがしやすくなります

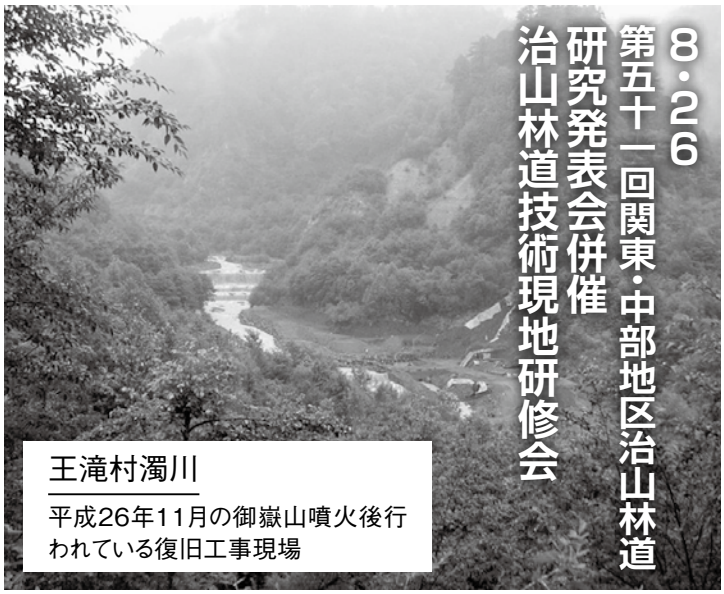
作業が行われた八月七日当日は、田中地区の住民の皆さんも大勢参加いただき、国際ボランティア学生協会の皆さん約百人（！）といっしょに、歩道や集水井工周辺の草刈、水路工の土砂除去などを行いました。

暑い中、大変な作業でしたが、若者のやる気とマンパワーにより、里山は見違えるようにきれいになり、今後の治山施設の点検やメンテナンスがしやすくなるだけでなく、地域住民の皆さんも、より里山に親しみを持てるようになったことと思います。なお、学生の皆さんは、この翌日から二日間にわたり、信濃町の県有林で、草刈や倒木整理などの作業をこなされました。たいしたものです・・・

田中地区では、今後も里山整備を進めていく意向があり、このような取組が他地区でも広がり、地域などの様々な力を活かした山地防災活動、里山づくりが行われることが期待されます。

技術力向上編

8・26 第五十一回関東・中部地区治山林道研究発表会併催 治山林道技術現地研修会



王滝村濁川

平成26年11月の御嶽山噴火後行われている復旧工事現場

八月二十六日に、治山林道技術現地研修会が木曽地域で開催されました。これは、前日の二十五日に松本市内で開催された第五十一回関東・中部地区治山林道研究発表会（一都十五県の技術職員等約３００人参加）にあわせて開催されたもので、研究発表会に参加した約四十人が、治山事業や、林内路網が整備された現場を視察しました。

研究発表会自体は、関東・中部地区の都県が持ちまわりで開催しているものですが、このような現地研修会の開催は初めてとなります。今回は、治山林道技術者の技術力向上に加え、自然災害が続いた木曽地域の活性化を図る目的で開催しました。

治山事業に関する現場は、昨年の十一月に噴火した御嶽山山麓の濁川。噴火の後、台風時の豪雨によって発生した土石流の対策として施工されている、治山ダムの工事現場です。事業主体の木曽森林管理署の皆さんから丁寧な説明をしていただき、さらに視察時に雨が降っていたことで火山灰を含んだ泥流の様子などを含めて、大変苦労している現場の状況を知ることができました。この現場では、昭和五十九年に発生した長野県西部地震による荒廃後、治山事業による森林の復旧の状況を見ることができました。

また、林道事業に関する現場は、木曽町開田の林業専用道の開設現場です。事業主体の木曽森林組合の皆さんから木材の搬出計画など説明をいただいたほか、県林業総合センターの戸田研究員から、ＣＳ立体図を用いた、壊れにくい路網づくりについて解説してもらいました。

これらの現場では、参加者が積極的に質問をするなど、活発な意見交換がされていました。今後、各地域で行われる治山、林道事業に今回の現場で見て、感じたことが、きっと活かされることでしょう。

【森林づくり推進課】

木曽町開田　把の沢

木材搬出に活用する林業専用道が開設されている現場

飯伊森林組合のプレカット加工施設が完成しました

下伊那地域において、森林整備から木材の市売り、木材加工までを行っている飯伊森林組合が、喬木村の飯伊木材流通センター内に最新のプレカット加工施設を整備し、七月から稼働しました。この施設は、飯伊森林組合に加え、準組合員である地域の製材業者や工務店が材を持ち込むことで利用でき、地域材の加工・利用がさらに促進されることが期待されています。

《下伊那地域における地域材利用のこれまでの取組み》

当地域では、ヒノキ・スギを中心とした豊富な森林資源を地域で連携して活用していこうと、飯伊森林組合や地域の製材業者等による「南信州木づかいネットワーク」が平成二十年に結成され、平成二十四年には同流通センター内に、地域の拠点となる製材施設「ほうりん」を整備して、地域材から柱材等の製材を進めてきました。一方で、飯伊森林組合の従来のプレカット加工施設では現在主流の加工にすべて対応できないため、受注できなかったり、工務店が直接近県工場に加工を一部委託したりしていました。このような実情から、素材生産から加工・利用までを地域で完結するために、最新のプレカット加工施設の検討が進められ、平成二十六年度県産材供給体制整備事業を活用して整備が実現しました。

大型木造建築にも対応可能な大断面加工機

《新施設の特徴》

この施設は、従来の設備では加工できなかった筋交いのプレカット加工や、耐震補強に必要な金具用加工が可能となり、組立時の目印を印字する機能等により、建築現場における組立ての省力化が見込めます。また、大規模プレカット工場では対応しない、細かな加工にも応じられる設備とし、地元工務店からの注文にも対応しやすくなりました。

《新施設への期待》

この施設では、年間二，五〇〇立方メートル（八，〇〇〇坪・約二〇〇棟分）の加工を目標としており、今後、住宅着工戸数の減少が予想される厳しい状況ではありますが、地域内での一貫した生産システムによる強みを生かした販路の確保等により、素材生産量の増加、ひいては下伊那地域の林業・木材産業の活性化に貢献する施設となることが期待されます。

【下伊那地方事務所】

加工した木材

高速羽柄三次元切断機

自動で刃の付替えも行う
大断面加工機のロボットアーム

森林環境教育活動について

林野庁中部森林管理局 木曽森林ふれあい推進センター
所長　岩本 道彦

当センターは、林野庁中部森林管理局の出先機関として木曽郡木曽町に所在し、森林環境教育と自然再生を主な業務としています。主に木曽谷の国有林をフィールドとして県内外の皆様に見学会・林業体験などを行っています。今回は、このうち木曽地域の教職員を対象とした森林・林業体験学習会の活動について、その取組内容を紹介します。この学習会は、児童・生徒の指導者である小中学校の教職員の皆様に、森林・林業の役割や森林環境教育の重要性についての認識を深めていただき、森林環境教育が学校に積極的に取り入れられることを目的として、平成十四年度から毎年開催しています。

今年度も、長野県の共催をいただき、八月六日（木）に木曽町福島の御料館（旧帝室林野局木曽支局）と城山国有林で実施しました。最初に木曽谷一円の御料林を管理経営するため明治三十六年に建てられた、御料館内を見学しました。アールデコの意匠がみられる木曽谷初のモダンな洋風庁舎で往時の雰囲気を感じるとともに、木曽の森林・林業の歴史や木曽谷の模型や動物の標本等から木曽谷を知る上で貴重な資料に参加者は感動していました。続いて、スギ材を使用した鳥の巣箱づくりを体験しました。巣箱は木の洞（ほら）で繁殖する鳥の営巣場所を提供するものであり、もともとは木の洞ができるような太い木が少ないところに鳥を呼び戻すために考えられました。それらの基本を学んだ後、比較的容易にできる木工作に取り組みました。

その後、城山史跡の森を散策しながら、当史跡の森の生い立ちやあゆみ、植物・樹木の観察、国有林が実施している治山工事について学習しました。

また、木曽地域でもクマやイノシシ等による農作物や樹木への被害が年々増加していることから、棲息する野生動物の実態を把握するためのセンサーカメラを実際に設置する実習を行いました。

今回の学習会を開催した城山国有林は、木曽森林管理署と「多様な活動の森」の協定を締結している「城山史跡の森倶楽部」の活動拠点であることから、当倶楽部事務局長に講師をお願いしました。参加した先生からは「センサーカメラを活用し学校周辺の野生動物の棲息状況を観察したい」「御料館は木曽の自然や歴史など参考になるので切り口を考えて教育計画を検討したい」などの感想が寄せられました。

今回の学習会では、教職員の方々には実際に見て、体験してもらうことが大切と考えこのようなプログラムを実施しました。実施後のアンケートにも「参加してよかった」との感想が多く、今後、今日のような取り組みを契機として学校教育の場で林業活動と森林環境教育が普及していくことを期待しています。

城山散策・観察

巣箱づくり

10月の市売りのご案内

本部事務所（製品）	荻原事務所（原木）	坂下事務所（原木）	国有林土場等活用委託販売市売日
開設48周年記念市 10月24日(土)	創立60周年記念 第31回日本美林まつり 10月20日(火)	10月　7日(水) 10月26日(月)	10月14日(水)

入札物件紹介・入札結果はホームページで掲載
※本市売は、これまでの木曽地区国有林の公売に代わるものです。

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。

木曽官材市売協同組合
ホームページアドレス　http://www.kisokan.com

理事長　野村　弘
本部事務所：長野県木曽郡上松町正島町2-45
☎0264-52-2480　FAX0264-52-2324

荻原事務所：長野県木曽郡上松町荻原字中島1431-1　☎0264-52-2483㈹　FAX0264-52-4885
やぶ原土場：長野県木曽郡木祖村薮原844-1　☎0264-24-0085㈹　FAX0264-24-0086
坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1　☎0573-75-3178㈹　FAX0573-75-3172

長野県林業大学校オープンキャンパス開催

林大では、恒例のオープンキャンパスを七月三十一日(金)と八月二十三日(日)に行い、県外者二十三人、女子生徒八人を含む合計八十五人の参加がありました。

全寮制で、学費が安く給付金や奨学金が受けられること、就職率はほぼ100%で、大学編入・公務員・林業関係事業体・造園会社・測量会社等への進路があること、講師陣に現役大学教授等をむかえ一般教養科目から林業専門科目まで幅広く勉強できる授業・実習・研修内容等の概要を説明しました。具体的な寮生活や授業内容については、在校生十五人が若い感覚で実体験をふまえて楽しく説明しました(写真-1)。その後、森林・林業に関するクイズ形式のミニ講義を実施しました(写真-2)。校内見学では、四班に分かれて教室、実習棟、図書館、男子寮、女子寮、寮部屋、食堂をゆっくり見て回りました。

閉会後、希望者は寮での食事を試食しましたが、定番のカツカレーの味に満足していただけたようでした。また、在校生と一緒に雑談しながらの昼食でしたので、ざっくばらんに気楽な話もできたと好評でした。

八十七%の方から回収したアンケート結果からは、①林大ホームページや高校の先生から情報を得て参加した、②林大を第一志望に考えている、林大を進路の一つと考えている、学ぶ環境を知りたいので参加した、③学校の方針がよく分かった、少人数で学習できる所がよい、学生が生き生きしていた、学生と先生の距離が近いと感じた、より深く理解できて入学したいと思った、④全寮制の様子が分かった、寮の部屋が見学できて良かった、新築の女子寮がきれいだった等の声が聞かれ、今後の対応の参考になる事柄も多く含まれていました。

全国の林業大学校の中でも、高倍率の志願者数を誇っている長野県林業大学校ですから、今後とも地域の中核となって活躍できる優秀な林業後継者を育成していきたいと考えています。

写真-1
在校生が寮生活、食事、授業、研修等について来校者に楽しく説明しました。

写真-2
クイズ形式のミニ講義では、森林・林業に関する簡単な問題について皆で頭をひねりました。

長野県林業大学校 平成二十八年度入学生の募集について

長野県林業大学校は、林業専門課程の専修学校です。

林業の専門知識・技術を身につけ、地域で指導的な役割をはたす技術者及び林業後継者となる優秀な人材を養成することを目的として、全人教育を目指しています（全寮制、修業年数二年）。

平成二十八年度入学生の試験を左記の日程で行います。詳細は、長野県林業大学校までお問い合わせください。

長野県林業大学校
〒397-0002 木曽郡木曽町新開4385-1
電話 0264-23-2321／FAX 0264-21-1058
E-mail ringyodai@pref.nagano.lg.jp

オーストリア海外研修（H.27.7.5 ～ 7.13）

	推薦入学試験	一般入学試験
願書受付期間	平成27年10月1日(木)から 平成27年10月14日(水)まで	平成27年11月30日(月)から 平成27年12月15日(火)まで
試験日	平成27年11月5日(木)	平成28年1月13日(水)
合格発表	平成27年11月17日(火)	平成28年1月25日(月)
募集人員	20人	

平成二十七年度 長野県きのこ品評会 並びに 長野県きのこ料理コンクール を開催します

きのこの生産技術並びに品質の向上と消費の拡大を目的に、県内で生産されるきのこを一同に集めた「長野県きのこ品評会」を今年も開催します。生産者の皆様には、日頃の取組の成果を発表する場として、是非とも出品をお願いします。

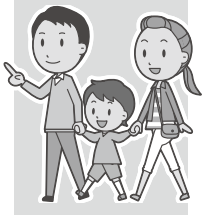
併せて「長野県きのこ料理コンクール」も開催します。優秀作品は全国大会へ出場します。また、来年六月五日(日)に開催される全国植樹祭において提供される「おもてなし弁当(仮称)」のメニューにアイデアを採用させていただくことも考えています。

料理ができる方なら、どなたでも参加できますので、皆様からのアイデアあふれるきのこ料理の出品をお願いします。

○期　日　平成二十七年十一月十三日(金)～十五日(日)
○場　所　長野市若里ビッグハット(多目的スポーツアリーナ)
○主　催　信州きのこ祭り推進協議会　(会長　阿部守一)
○問合せ先　長野県林務部信州の木活用課
電話　026-235-7267(直通)

木材市場に遊びにおいでよ！

第3回『森の恵みふれあい祭り』



8月1日(土)、安曇野市のもくりゅう館にて、「森の恵みふれあい祭り(主催：長野県森林組合連合会中信木材センター、松本広域森林組合、後援：中信森林管理署、安曇野市)」が開催されました。

通常は多くの木材・林業関係者が訪れる中信木材センターですが、一般の方々には馴染みのない場所となっています。そのため、本イベントを通じて地域の方々に木材センターを訪れていただき、林業や木材を身近に感じていただく事を目的として開催しています。

今年で第3回を迎える本イベントですが、恒例となっている板材の特価販売やMy箸作り、前回好評でした木材市場見学バスツアーが行われました。特にバスツアーは、普段見ることのない大量の丸太や選木機、チッパーマシンなどを近くで眺めつつ、クイズを散りばめた説明をセンター所長が行うもので、乗り切れない人も多く、増便を行うほどの人気でした。

また今回は安曇野市立三郷中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏会や、オガサワラ林業有限会社による自動薪割器の実演会、さらに全国植樹祭のポット苗木・トマトの無料配布などがありました。演奏会では吹奏楽部の親御さん方もご来場され、一時は会場内に入りきれないほどでした。

今回の「森の恵みふれあい祭り」は夏休み期間中という事もあり、お子様連れの方も多く、総勢300名弱の方々にご来場いただきました。本イベントにお越し頂いた方々が、これをきっかけに少しでも木材センターや林業に関心を持っていただければ幸いです。

恒例の板材販売

毎回評判のMy箸作り

好評を博した見学バスツアー

三郷中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏会の様子　会場に入りきれない方も多く、外で聞く方も

信頼に応える組合づくりのために

森林組合監事研修会開催

9月7日(月)、塩尻市の総合文化センターにて、森林組合監事研修会が行われました。

本研修会は、初任監事並びに研鑽を積みたい監事等を対象に行われるもので、本年は県下11組合より27名の方が参加されました。

開会後、JForest森林組合綱領を唱和し研修会に移りました。まず初めに長野県森連・滝澤専務理事より、「森林組合を取り巻く情勢について」という題で講義を行っていただきました。その後は連合会の監査士より「監事の地位と職務について」、「監事の権限、義務、責任について」、「監査理論について」、「監査実務について」の講義を行い、最後に県林務部信州の木活用課・高野主査より、「森林組合検査の概要について」という題で常例検査の基本的事項を講義いただきました。

講義では職責等の基礎的な事項から、監査を行うべき重要項目、監査意見の限度、効率的な監査のための手法などについて例を交えつつ解説が行われました。加えて近年は監事の責任範囲が増加している事や、それに伴い監査を受ける側が期待するものと、監査する側との間に意識のズレが生じている事も説明されました。

講義後の質疑応答では、森林組合を取り巻く情勢が急激に変化する中でどのような監査が必要なのか、というものから、監事の根本的な役割に対するものまで、積極的に質問がなされました。

受講された監事の方々は、講義テキスト等を参考に、職責を果たしつつ、各々の組合の健全な発展に資する監査を行って下さいますようご期待申し上げます。

当会監査士による講義

高野氏による質疑応答

―イベント情報―

今年の記念市の予定について

本年も当連合会の販売事業の一大イベントである開設記念市が各木材センターにて行われます。

記念市には毎年多くの皆様より優良材を多量に出荷していただき盛大に開催しております。記念市の時期は国産材の需要期となる頃ですので、出材される方は本年も多量出荷の程、どうぞよろしくお願いします。また、買方の皆様のご来場もお待ちしております。

各木材センターの記念市の日程は左記の通りです。皆様奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

開催場所	開催日
北信木材センター 開設57周年記念市	10/22(木)
中信木材センター 開設53周年記念市 (製品記念展示会も同日開催)	11/25(水)
伊那木材センター 開設54周年記念市	11/26(木)

長野県の木材市況

第959回 市売市況表

（平成27年 8月 20日実施）

長野県森林組合連合会　伊那 木材センター

℡0265-72-2684　　Fax0265-76-8759

○ 強気配　－ 保合　△ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎥)	中値(円/㎥)	気配	備考
ひのき	3.0	直	16～18	17,000	15,000	△	直造材でお願いします。並材引き合いあり
		直	20上	17,000	15,000	△	
	4.0	直	16～18	16,500	15,000	－	
		込	20～28	17,000	15,000	－	
		元	20～28	29,000	14,000	△	
		曲	14～18	13,000	10,000	△	
		曲	20上	14,000	12,000	－	
	6.0	直	18～20				
栗	3.0～4.0	込	16～34	35,000	15,000	○	広葉樹の太物に高値人気
ホウ	2.0～4.0	込	30上	10,000	7,000	○	
欅	6.0	直	46	84,000		○	
桜	3.0～5.0	込	24上	33,300	15,000	○	
からまつ	4.0	直	14～18	10,000	8,000	－	中目直材引き合いあり
		直	20上	14,000	11,000	○	
		曲	14～18	8,000	6,000	－	
		曲	20上	11,000	9,000	－	
あかまつ	4.0	曲	18～22	8,000	6,000	△	価格低調
		曲	24～28	10,000	8,000	△	
		直	30上	12,000	10,000	△	
すぎ	3.0	直	16～18	12,000	10,000	○	4m中目材に人気
		直	20上	8,000	6,000	－	
	4.0	直	22～28	14,000	12,000	○	
		元	30上	16,000	13,000	○	
		曲	14～18	6,000	5,000	△	
		曲	20上	8,000	6,000	△	

出品量 1,164 ㎥　　販売量 1,157 ㎥　　落札率 99 %　　買い方 31 社

連日暑い中出品頂きありがとうございます。今回もひのきは並材ですが応札活発で引き合いがあった。皮が剥け干割れ材が目立ちますので皮ができるだけ剥けない様努めて下さい。
合法認定事業者の登録をお願いするとともに出荷時にはその都度（合法認定番号および合法木材であるコメントを記載した内容の納品書の提出をお願いします。

第961回　市売り市況表

（平成27年8月19日実施）

長野県森林組合連合会　中信木材センター

Tel 0263-77-2347　Fax77-2349

○ 強気配　－ 保合　△ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎥)	中値(円/㎥)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16～18	12,000	9,000		3.0m×14～18cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
	4.0	直	30上	30,000	12,000		
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000		良材には高値あるが、並材値段横這い。
	4.0	直	20～28	18,000	13,000		
		元	36～48	35,000	27,000		
からまつ	4.0	込	6～13	10,000	8,000		材不足しています。ご出品お願いいたします。
		直	14～18	10,000	8,000		
		直	20上	13,000	12,000		
		曲	14～18	8,000	5,000		
		曲	20上	11,000	7,000		
あかまつ	4.0	込	18～28	12,000	9,000		需要期過ぎ梁材価格低迷。
		込	30上	22,000	8,000		
くるみ	2.0～4.0	込	18～40	38,000	12,000		広葉樹、応札活発ご出品下さい。
なら	2.0～4.0	込	14～40	44,000	12,000		
くり	3.0～4.0	込	16～44	42,000	15,000		

出品量 3,237 ㎥　　販売量 2,652 ㎥　　落札率 82 %　　買い方 36 社

暑い中、出品いただきありがとうございます。 今回は良材が少なく応札がやや少なく感じる市売でした。 この夏場を乗り切り秋の需要に期待したいところです。　土場の降ろし場所も空いておりますので引き続き出品お願いします。　尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。 合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第992回　市況表

（平成27年 8月18日実施）

長野県森林組合連合会　北信木材センター

Tel 026-295-5546　Fax 026-295-5547

○ 強気配　－ 保合　△ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎥)	中値(円/㎥)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16～18	13,000	9,000		直造材で出品願います。
		直	20上	13,000	10,000		直造材で出品願います。
	4.0	込	8～13	5,500	4,500		需要あり。出品願います。
		直	14～20	12,500	9,600		出品願います。
		直	22～28	13,500	11,000		応札活発 出品願います。
		直	30上	16,000	11,000		直造材で出品願います。
		曲	14～18	6,000	4,000		
		曲	20上	11,000	7,000		
	5.0	直	30～42	18,000	11,000		
からまつ	4.0	込	6～13	11,000	6,000		細物直造材を心がけて下さい
		直	14～18	12,500	8,500		応札活発 出品願います。
		直	20上	16,000	11,000		応札活発 出品願います。
		曲	14～18	5,100	5,000		
		曲	20上	12,500	9,000		
ひのき	3.0	直	16～18	15,000			
	4.0	直	16～18	16,000			
		直	20～28	20,000			
		直	30上	21,000			
		曲	20上	16,000			
いちい	2.0	曲	34	55,000			

出品量 3,905 ㎥　　販売量 3,859 ㎥　　落札率 98.8 %　　買い方 37 社

今回の市売りでは、国有林材を中心としてスギ・カラマツの出品が多く、盆休み明け早々にも関わらず多くの応札をいただきました。
今後もスギ・カラマツについては、一定の需要が見込まれますので、引き続き出品をお願いします。特に細物については品薄状態ですので、積極的な出品をお願いします。広葉樹については、安値応札が多く見られましたので、伐採は冬頃まで控えるようお願いします。
また、まれに高節の材や根張りの付いた材等が見られますので、高値販売のためにも改めて丁寧な造材をお願いします。
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず（合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の）納品書 の提出をお願いします。

第466回　木材共販市況表

（平成27年 8月　21日実施　）

出品量 1,500m³　・　買い方　18社　・　落札率　98.0%　　飯伊森林組合木材共販所

樹　種	長さ		末口径　cm	高　値　円	平均値　円	平均石値　円	備　考
ひのき	2.0		18 ～ 40	23,000	14,000	3,920	
	3.0	直	14	9,000	9,000	2,520	
		元直	16	18,000	15,000	4,200	
		込	18 ～ 22	17,000	15,000	4,200	
		込	24 ～ 28	25,500	16,500	4,620	
		中込	16 ～ 22	15,000	13,000	3,640	
		込	24 ～ 28	16,000	13,000	3,640	
		元	30 上	26,000	22,500	6,300	
	4.0	元直	16 ～ 22	18,500	16,500	4,620	
		元	24 ～ 28	35,000	23,000	6,440	
			30 上	100,000	35,500	9,940	
		中直	12 ～ 14	11,000	9,000	2,520	
		込	16 ～ 22	15,000	13,000	3,640	
		込	24 ～ 28	25,500	18,500	5,180	
	6.0	直	18 ～ 22	24,500	20,000	5,600	
		直	24 ～ 28	23,000	18,000	5,040	
	4.0		12 下	360	300		一本売り
すぎ	4.0	込直	16 ～ 18	8,500	7,500	2,100	
		込直	20 ～ 22	10,500	8,500	2,380	
			24 ～ 28	13,500	11,500	3,220	
			30 上	13,500	12,500	3,500	
	3.0		18 ～ 22	8,000	7,500	2,100	
	3.0		24 ～ 32	8,000	7,500	2,100	
からまつ	3.0	直	14 ～ 22	5,000	4,500	1,260	
	4.0	込	12 ～ 14	6,000	5,000	1,400	
	4.0	込	16	6,500	5,000	1,400	
	4.0	込	18 ～ 28	10,000	8,000	2,240	
	4.0	直	30 上	12,000	8,500	2,380	
	4.0	小曲り	14 ～ 30	4,500	2,500	700	
	4.0	直	12 下	400	300		一本売り
くり	3.0		16 ～ 28	22,000	15,000	4,200	
	4.0		16 ～ 28	32,000	23,000	6,440	

総　評

全体にやや出荷量増価格はやや上昇。ひのき、良材出荷あり、応札活発。すぎは、引き合いあるも、価格は横ばい。からまつは、価格横ばい。
出荷協力いただき、ありがとうございました。引き続き丁寧な造材を心がけてください。

平成二十七年九月十日発行　長野の林業通巻三〇八号

発行　長野の林業編集委員会
事務局　長野市岡田町長野県林業センター内
（一社）長野県林業センター　電話〇二六（二二七）五〇一五　Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp
（一社）長野県林業普及協会　電話〇二六（二二六）五六二〇　Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp